

研究課題：門脈体循環シャントの画像所見と治療法についての後ろ向き研究

1. 研究の目的：門脈体循環シャントは小児におけるまれな先天奇形ですが、その画像診断、分類、治療方針についてまとめます。
2. 研究の概要：門脈体循環シャントは、まれな先天奇形であり、治療方針の決定が症例ごとに異なります。シャントの発生部位に基づいた分類、シャントに伴う肝内門脈の低形成の程度に基づいた分類があります。さらには、シャントに伴って肝実質の障害や、脳実質や肺実質に障害を生じることが知られています。治療方法としても、一期的にシャントを閉鎖する方法、半閉鎖し二期的にシャントを閉鎖する方法、肝移植を選択する方法があります。そのため、これらの情報を総合的に判断して、治療方針を決定する必要があります。現在まで経験した、門脈体循環シャントの症例の画像所見や症状、治療方針を検討します。これによって、まれな門脈体循環シャントの患児の早い発見と診断、そして治療の選択が可能となると考えます。
3. 研究の方法
診断と加療のために行われた画像検査の所見、検査時期、そして症状や治療法などを後方視的に調べます。
4. 研究期間
2021年7月から2021年12月までの6ヶ月間で、カルテを調べ、結果をまとめます。
5. 研究に用いる資料・情報の種類
2000年9月から2021年4月までの門脈体循環シャントの診断と加療のために超音波検査、CT、MRIが行われた症例を、受傷起点、検査時期、治療法、画像所見などを後方視的に調べます。
6. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表
この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切わからないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

7. 研究組織

研究分担医師： 細川 崇洋

研究施設名：独立行政法人埼玉県立小児医療センター 放射線科

連絡先：330-8777 埼玉県さいたま市中央区新都心 1-2

電話 048-601-2200

8. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2021年10月31日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

埼玉県立小児医療センター

医事担当（代表 048-601-2200）